

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目	安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
1	学校の施設及び設備の安全点検	<p>《全キャンパス》 【大宮キャンパス】 消防法に定められた消防設備点検(7月・10月)、防災管理点検(5月)に加えて、火元戸締責任者による自主点検(10月)を実施する。 令和元年5月に『防災管理点検報告』の特例認定を取得(令和4年5月まで有効)。 電気設備点検(1月)、貯水槽等点検(8月)、高圧ガス点検・空気環境測定(6月)、バリアフリー点検(5月)、ボイラー性能点検(10月)、エレベータ点検(毎月)を実施する。 新耐震基準または耐震性能を満たしていない建物は順次取り壊し・耐震工事を予定している。 コピー機・印刷機の転倒防止は対策済み。 【枚方キャンパス】 防災管理点検は、5月に実施。防災管理点検報告の特例認定は平成29年12月28日に再取得(平成32年12月28日まで有効)</p>	<p>《全キャンパス》 点検で異常や不備が発見された場合、問題を先送りすることなく速やかに処置を講じる。 重量物(備品、什器等)や教室のAV機器等の転倒・落下による危険が予測される箇所について、壁や天井、床面との固定など転倒防止策を順次を講じる。 コピー機のほか、学内には多数の印刷機も設置されており、新規設置があった場合、転倒防止の対策を順次講じる。</p>
2	通学に関するルールの厳守	<p>【大宮・梅田キャンパス】 最寄駅・バス停が近く、公共交通機関(地下鉄・電車・バス)の利用が不便ではない等の理由により、自動車・バイク通学を禁止しており、入学時に保証人と学生の連名により「通学に係る誓約書」を提出させている。 交通安全講習会(4月(梅田)・7月(大宮))を実施する。 【枚方キャンパス】 交通安全講習会(6月) 枚方キャンパスは関西文化学術研究都市の北西部にあり、通学はバス、電車等の公共交通機関を利用することとしているが、これ以外の自動車・バイク・自転車通学を希望する学生には、これに応じている。なお、自動車通学を希望する場合は、学内外で実施される「交通安全講習会」の受講を許可条件としている。</p>	<p>《全キャンパス》 道路交通法の一部改正により、違反を繰り返す自転車利用者に「自転車運転講習」が義務付けられた。3年以内に2回以上、交通の危険を生じさせる違反行為をして摘発された自転車運転者は、公安委員会の命令を受けてから3ヶ月以内の指定された期間内に講習を受けなければならない。 【大宮・梅田キャンパス】 路上駐車等の迷惑行為が地域や大学に与える影響の重大性から、当該行為者に本学学生としての責任を自覚させるため、厳しい処分を行うことを学生委員会で決定する。</p>
3	危険等発生時対処要領の策定	<p>《全キャンパス》 危機事象別の対処要領を現在策定中。 対処要領は訓練等を通じて適宜見直し、改善を図る。 災害時行動マニュアル作成・配付(4月)</p>	<p>《全キャンパス》 対処要領にはない想定外の事態が発生した場合でも、教職員は学生の安全確保を最優先かつ臨機応変に対処する訓練を受けている。 【大宮キャンパス】 毎年9月に文化系クラブ対象の救命講習会を行っている。 【枚方キャンパス】 毎年12月に学生対象の応急手当講習会を実施している。</p>
4	教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣	<p>《全キャンパス》 自衛消防業務講習の受講と防災士資格取得を奨励。</p>	-

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目	安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
5	<p>事件事故災害発生後における学生等とその家族への対応方策および事実経過の確認方法</p>	<p>《全キャンパス》 一斉連絡・安否確認システムを活用し、学生ならびに教職員に発災直後からメールの自動送信による安否確認を開始する。メールの応答がない学生には、担任教員が速やかに安否を確認する体制が確立されている。 災害時行動マニュアルを作成・配付し、有事の際の初動対応(身体を守る行動)と避難経路を明示している。 【枚方キャンパス】サマー安全セミナー(7月)</p>	<p>《全キャンパス》 返答率アップの方策として、全学生を対象に一斉連絡・安否確認システムの応答訓練を実施している。(年2回 4月・7月(大宮キャンパスのみ防災訓練時(10月)に3回目の応答訓練を実施))</p>
6	<p>津波浸水や河川の増水や氾濫に対する方策</p>	<p>【大宮キャンパス】 地域防災マップの浸水区域図によると、淀川が氾濫した場合に1m～2mの浸水が予想される。この場合、学生を安全に帰宅させることが困難となることから、飲料水、簡易トイレ、非常食等の災害用備蓄品を用意している。 排水を促すための側溝および浸透樹をグラウンドに設置。 淀川河川敷グランドスポーツ施設撤去訓練(5月)を実施する。 国土交通省主催の淀川水防・大阪府地域防災総合演習(5月)に参加。 【枚方キャンパス】 防災センターと連携を行い、野外物品の撤去先を決めている(図面化)。災害用備蓄品も用意している。 【梅田キャンパス】 浸水を防止するため建物に自動稼働する止水板を設置している。</p>	<p>—</p>
7	<p>関係行政機関等との学校安全における連携体制の整備</p>	<p>【大宮キャンパス】 本学と大阪市旭区役所、大阪府旭警察署、旭消防署ならびに周辺の2つの連合振興町会と合同で『中宮・大宮地域防災会議』を1月に開催(総務課危機管理係)している。 下部組織として運営委員会を設け、防犯および防火・防災に関する情報交換を定期的に行っている。これら組織運営のアドバイザーとして、大阪市危機管理室の職員が派遣され、適切な助言を得ている。 【梅田キャンパス】 同報系防災行政無線の試験放送 年4回 【枚方キャンパス】 北山祭(11月)では、交野警察署(警備課・交通課)と学内の警備面や大学周辺の交通状況について連携を行っている。</p>	<p>—</p>

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目	安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
8	学校敷地内ならびに校舎内への不審者侵入防止策	<p>【大宮・枚方キャンパス】 正門玄関前に受付・防災センターを設置し、警備要員を常時配置するなど、不審者侵入を未然に防ぐ体制を構築している。</p> <p>【梅田キャンパス】 学外者の教育エリアへの入場は、学生証や職員証を利用したセキュリティゲートにより入場を制限している。また、正面玄関前に受付・防災センターを設置し、警備要員を常時配置するなど、不審者侵入を未然に防ぐ体制を構築している。 一般の来場者は受付で日時、氏名、来場目的等を記録することを義務付けており、不審者の侵入防止に努めている。</p>	<p>《全キャンパス》 万が一、不審者がキャンパス内に侵入し、学生、教職員に危害が及ぶ事態が発生した場合、直ちに校内放送で緊急事態をアナウンスするとともに、現場に居合わせる教職員が学生の安全を確保する(防御用機材として、刺股を受付・防災センターに常備)。</p> <p>【大宮・梅田キャンパス】 学外者の構内入構を管理徹底するため、受付・防災センターでネックストラップ付きの入構許可証を交付している。これにより、構内での学外者特定が容易となる。また、グローバル化への対応として入構許可証は英語を併記している。</p>
9	学校敷地内での不審者の発見・排除ならびに緊急時に備えた対応	<p>《全キャンパス》 キャンパスの各入退場門、境界線ならびに各建物の出入口付近に監視カメラを複数台設置し、異常が発見された場合は直ちに警備要員が現場へ急行する体制が構築できている。</p>	
10	警備要員(夜間警備含む)を配置	<p>《全キャンパス》 夜間警備を含む24時間警備体制としている。 警備責任者は、警備要員指導教育責任者または施設警備業務2級以上の有資格者を配置する。 警備要員には、自衛消防業務講習および普通救命講習の修了者を1名以上配置する。</p> <p>【大宮キャンパス】 定例警備会議を毎月実施する。</p> <p>【梅田キャンパス】 隣接するビルとも合同で、警備・清掃・施設部門の現業会議を定期的に行っている。</p> <p>【枚方キャンパス】 警備要員とは日常的に問題点や改善点など常に意見交換を行い、解決策まで講じている。</p>	<p>《全キャンパス》 女子学生に対処するため、女性の警備要員を増員する必要がある。</p>
11	熱中症予防のための方策	<p>《全キャンパス》 高温時における長時間の活動では、教職員が学生の様子を観察し、適宜休憩をとり、十分な水分補給を行うなどのルールがある。 夏期にポータルサイト等で学生および教職員へ熱中症の予防・対応等について注意喚起を行っている。特に体育会系課外活動団体に対しては、熱中症についての小冊子を配付している。</p>	<p>《全キャンパス》 熱中症等による体調不良者が出た場合は、担架等で保健室に搬送し、生命に関わるような状況下においては迷わず救急車を要請する。 また、当該学生の保護者にも連絡し、状況の伝達と保護者の要請を考慮して対応する。</p>

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目		安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
12		被災時に学生等が学校に待機することを想定した備蓄	<p>《全キャンパス》 災害備蓄品点検(7月・12月)を実施する。 災害備蓄品倉庫は2階以上とし、浸水被害にも配慮する。</p> <p>【大宮キャンパス】 学生の帰宅困難を想定し、水(6,000本)、簡易トイレ(2,520回分)、非常食(主食2,300食、おかず等1,200食、その他2,900食)等の災害用備蓄品を用意している。</p> <p>【枚方キャンパス】 災害備蓄品倉庫は1階。本キャンパスは高台にあり浸水被害は想定しにくい。備蓄品としては、水が2,040本、簡易トイレ1,000回分、非常食1,800食などがある。</p> <p>【梅田キャンパス】 学生などの帰宅困難者を対象に非常食(750人分×5日間目標、現6,450食)、水(1,008本)、簡易トイレ(19,300回分)を備蓄している。</p>	<p>《全キャンパス》 待機状況が長期にわたり、災害用備蓄品が不足した場合は、広島地区の備蓄品を大阪に移送するなど、学園の危機管理対策本部が対応する。</p>

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目	安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
13	学校の施設が避難所になった場合の対応等	<p>《全キャンパス》 本学は、災害時における地域との連携を推進している。</p> <p>【大宮キャンパス】 大阪市旭区役所と『災害時における応急活動および平素における防災まちづくりの協力に関する協定』を締結しており、災害時には総合体育館を地域住民に提供(収容人数約1,900名)する。 大阪市の災害用備蓄品を本学倉庫で保管しており、非常時には地域住民の方を中心とした避難所開設・運営が行われる。これについては、旭区役所や地域住民の方々と合同で避難所開設訓練を毎年実施している。 本学の学生を避難収容する施設は別途設けており、地域住民の方々とのエリアの区分している。</p> <p>【梅田キャンパス】 大阪府曾根崎警察署と災害時施設利用に関する協定を締結している。</p>	<p>【大宮キャンパス】 大阪市旭区との協定において、避難所が解除された場合の諸条件(速やかな現状復旧等)により、授業等の再開に支障がないよう考慮している。 大規模災害等で避難生活が長期にわたる場合は近隣の小中学校等へ場所を移動していただくなど、教育活動に支障がでないよう考慮している。</p> <p>【枚方キャンパス】 災害備蓄品の数量は、学生・教職員数と同数である。そのため、地域住民の避難所になった場合、他校地から物資が必要。</p>
14	災害時の学生の引渡しや待機方法について、保護者との間で手順やルール	<p>《全キャンパス》 現状で具体的な手順やルールはなく、早急に策定する必要がある。 これらの内容は決まり次第、学生を通じて保護者等に周知する。</p>	-
15	緊急地震速報システムの設置ならびに本システムを利用した訓練	<p>《全キャンパス》 2013年度から学園全体で緊急地震速報システムを導入済み。 毎年、『津波防災の日』にあわせて緊急地震速報システムを用いたシェイクアウト訓練を実施している。</p> <p>【枚方キャンパス】防災訓練時に使用。</p>	-

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目	安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
16	防災訓練(避難訓練含む)の実施	《全キャンパス》 一斉連絡・安否確認システム応答訓練(7月・11月) 【大宮キャンパス】 新入生避難訓練(4月) 淀川河川敷グラウンドスポーツ施設撤去訓練(5月) 毎年10月に大規模地震を想定した防災訓練を実施している。本訓練では、通報訓練、避難訓練、消火器を用いた消火訓練をあわせて実施する。 【梅田キャンパス】防災訓練(9月) 【枚方キャンパス】防災訓練(11月)	-
17	自動体外式除細動器(AED)の設置ならびに日常的な点検	《全キャンパス》 ○設置 自動体外式除細動器は当該設置場所に看板等で表示するほか、全学と教職員に対して毎年度「災害時行動マニュアル」を配付し、機器の設置場所を明示している。 ○日常点検 毎月に定期点検を実施し、動作確認ならびに電極パッドの破損等がないか確認する。	《全キャンパス》 点検時に不具合が発見されたものは速やかに交換、修理等を行う。
18	自動体外式除細動器(AED)の使用を含む応急手当講習の実施	【大宮キャンパス】 工学部応用化学科では、実験・実習等で危険物を取り扱うことから、卒研生・大学院生を対象とした応急手当講習・消火訓練を実施する(3月) 【枚方キャンパス】 学生対象応急手当講習会(7月)	《全キャンパス》 普通救命講習会について、近隣消防署の協力のもと実施しているが、AEDの訓練で使用する人形の数に限りがあり、一度に多くの受講ができないため、講習会の開催頻度を増やすなどの調整・検討が必要である。
19	学生の海外留学に係る安全教育・指導、学生支援を実施	《全キャンパス》 国際交流プログラムによる海外派遣の前に、プログラム参加学生に対して危機管理ガイダンスを実施し、海外での健康管理、災害時の対応、犯罪やテロ等の回避方法などについて説明を行い、派遣先にて安全に活動できるよう指導している。また、参加学生に対して、本学が指定する、派遣期間中全てをカバーする海外旅行保険に加入を義務付けており、緊急時における保険会社と本学の速やかな連絡体制を構築している。さらに、同保険には危機管理と健康相談のサービスが付帯しており、学生が海外でのトラブルや病気、健康等について、日本語にて電話で相談できるようにしている。	《全キャンパス》 国際交流プログラムの参加学生全員が必ず危機管理ガイダンスを受講するよう、初回ガイダンスに出席できなかった学生に対して振替のガイダンスを実施している。また、学生が保険付帯サービスを利用した際は、相談内容次第で本学も迅速かつ適切に対応できるよう、保険会社より本学に利用レポートが提供されている。さらに、トラブル等の発生時に、各種関係者(本学、派遣先、保険会社、保護者等)と協調して事態の解決に取り組むことができるよう、緊急時の連絡フローを定めている。

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

項目		安全計画	具体的な方策(現状)	支障となる事項があった場合の対処
20		その他(関連イベント等)	≪全キャンパス≫ 防火・防災管理者会議(2月) 健全で明るい職場づくりを含めた行動規範制定。 あいさつ運動とたばこと健康展示コーナー設置(5月) 【大宮キャンパス】 防火・防災管理委員会(6月・3月) クラブ部長会議・主将会議でのアルコール事故注意喚起(4月・12月) 健康フェア(11月) 薬物乱用防止啓発講演会(7月) 【梅田キャンパス】 健康フェア(11月) 【枚方キャンパス】 健康フェア(11月)	-

大阪工業大学 2019年度学校安全計画

年間目標

- ・施設および設備の安全点検を実施し、様々な活動における学生の生活安全に努める。
- ・地域の関係機関等と連携を図りながら、管理運営体制の整備充実に努める。

月	大宮				梅田			枚方		
	主な学校行事	安全管理		生活・安全教育	安全管理		生活・安全教育	安全管理		生活・安全教育
		対人管理	対物管理		対人管理	対物管理		対人管理	対物管理	
4	新入生ガイダンス 学生定期健康診断 入学宣誓式	▲自衛保安(消防)組織発足 ●学生健康診断有所見者呼び出し ▲ 役職者の緊急連絡先一覧の整備(大宮) ▲新任教職員への防災関連用品配付(ヘルメット・持出袋) ▲火元・戸締責任者選定	消防計画書作成	● 新入生避難訓練(大宮) ●学生用安否確認システム応答訓練① ●災害時行動マニュアル(携帯用)配付・指導(緊急時パーソナルメモ欄への連絡先記入指示等) ● クラブ部長会議・主幹会議でのアルコール事故注意喚起(大宮) ● 学生対象防犯講習会 ● アイリスパトロール隊による女性被害防止キャンペーン(大宮) ● 学生の社会的責任を強化するための啓発講習会	●自衛保安(消防)組織発足 ●学生健康診断有所見者呼び出し ▲ 役職者の緊急連絡先一覧の整備(梅田) ▲新入教職員への防災関連用品配付(ヘルメット・持出袋) ▲火元・戸締責任者選定	消防計画書作成	● 防災・交通・生活安全講演会(梅田) ●学生用安否確認システム応答訓練① ●災害時行動マニュアル(携帯用)配付・指導(緊急時パーソナルメモ欄への連絡先記入指示等)	▲ 防火・防災管理委員会①(枚方) ▲自衛保安(消防)組織発足 ▲学生健康診断有所見者呼び出し ▲ 役職者の緊急連絡先一覧の整備(枚方) ▲新入教職員への防災関連用品配付(ヘルメット・持出袋) ▲火元・戸締責任者選定	●学生用安否確認システム応答訓練① ●災害時行動マニュアル(携帯用)配付・指導(緊急時パーソナルメモ欄への連絡先記入指示等)	
5	職員定期健康診断 特殊健康診断①	●学生健康診断有所見者呼び出し	防災管理点検 空気環境測定 バリアフリー点検	● あいさつ運動(大宮) ● たばこと健康展示コーナー設置 ● 淀川河川敷グラウンドスポーツ施設撤去訓練(大宮) ● アイリスパトロール隊による女性被害防止キャンペーン(大宮) ● 淀川水防・大阪府地域防災総合演習	●学生健康診断有所見者呼び出し ▲ 同報系防災行政無線の試験放送① ▲ 防火・防災管理委員会	防災管理点検 空気環境測定 バリアフリー点検	● たばこと健康展示コーナー設置	●学生健康診断有所見者呼び出し	防災管理点検 空気環境測定 バリアフリー点検	● たばこと健康展示コーナー設置
6	後援会定期総会	● 健康診断有所見者呼び出し ● 学生健康診断結果ポータルサイト揭示 ▲ 防火・防災管理委員会①(大宮)	高圧ガス点検・空気環境測定	● 危機管理関係マニュアルHP揭示 ▲ 一斉連絡・安否確認システムの取り扱い説明会(大宮) ▲ 常翔歴史館防災訓練(大宮)	● 健康診断有所見者呼び出し ● 学生健康診断結果ポータルサイト揭示	高圧ガス点検・空気環境測定	● 危機管理関係マニュアルHP揭示	● 健康診断有所見者呼び出し ● 学生健康診断結果ポータルサイト揭示	● 危機管理関係マニュアルHP揭示 ● 交通安全講習会(枚方)	
7	オープンキャンパス 前期試験	● 学生・職員結核報告	災害備蓄品点検① 空気環境測定 消防設備点検	● 薬物乱用防止啓発講演会(大宮) ● 交通安全講習会(大宮) ● アイリスパトロール隊による女性被害防止キャンペーン ▲ 教職員用安否確認システム応答訓練① ● 学生用安否確認システム応答訓練②	● 学生・職員結核報告	災害備蓄品点検① 空気環境測定 消防設備点検	▲ 教職員用安否確認システム応答訓練① ● 学生用安否確認システム応答訓練②	● 学生・職員結核報告	災害備蓄品点検① 空気環境測定 消防設備点検	● サマー安全セミナー(枚方) ▲ 教職員用安否確認システム応答訓練① ● 学生用安否確認システム応答訓練② ● 学生対象応急手当講習会(枚方)
8	前期試験 オープンキャンパス 工作・実験フェア(大宮) 教育懇談会(就職セミナー)		貯水槽等点検	▲ 緊急地震速報の訓練 ● 大学生消防体験教室	▲ 同報系防災行政無線の試験放送②	貯水槽等点検	▲ 緊急地震速報の訓練 ● 大学生消防体験教室		貯水槽等点検	▲ 緊急地震速報の訓練 ● 大学生消防体験教室
9	入学宣誓式(9月入学) オープンキャンパス 学位記授与式(9月卒業) 職員ストレスチェック検査	▲ 職員健康診断労基報告①	空気環境測定	● 文化系クラブ対象救命講習会(大宮)	▲ 職員健康診断労基報告①	空気環境測定	▲ 防災訓練(梅田)	▲ 職員健康診断労基報告①	空気環境測定	
10	教育懇談会(地方会場) 城北祭		自主点検 ボイラー性能点検 消防設備点検	▲ 防災訓練(大宮) ● 学生用安否確認システム応答訓練③(大宮) ● 国際会館防災訓練		自主点検 消防設備点検	● 国際会館防災訓練		自主点検 消防設備点検	▲ 防災訓練(八幡) ● 国際会館防災訓練
11	北山祭 教育懇談会(大阪会場) 梅田キャンパス学園祭	警備巡回経路の見直し	保安・施設管理規定の見直し 空気環境測定	▲ 津波防災の日の緊急地震速報システムを用いたシェイクアウト訓練 ▲ 旭自衛消防協議会消防技術練成会(大宮) ▲ 教職員用安否確認システム応答訓練② ● 健康フェア(大宮)	警備巡回経路の見直し	保安・施設管理規定の見直し 空気環境測定	▲ 津波防災の日の緊急地震速報システムを用いたシェイクアウト訓練 ▲ 教職員用安否確認システム応答訓練② ● 健康フェア(梅田)	警備巡回経路の見直し ▲ 防火・防災管理委員会②(枚方) ▲ 防火・防災管理委員会③(枚方)	保安・施設管理規定の見直し 空気環境測定	▲ 防災訓練(枚方) ▲ 津波防災の日の緊急地震速報システムを用いたシェイクアウト訓練 ▲ 教職員用安否確認システム応答訓練② ● 健康フェア(枚方)
12		▲ 健康診断未受検者受診勧奨	災害備蓄品点検②	● クラブ部長会議・主幹会議でのアルコール事故注意喚起(大宮)	▲ 健康診断未受検者受診勧奨 ▲ 同報系防災行政無線の試験放送③	災害備蓄品点検②	▲ 健康診断未受検者受診勧奨	災害備蓄品点検②		
1	大学入試センター試験 一般入試(前期A日程) 後期試験 特殊健康診断②	▲ ストレスチェック労基報告	電気設備点検 空気環境測定 防災管理点検は正完了		▲ ストレスチェック労基報告	電気設備点検 空気環境測定 防災管理点検は正完了		▲ ストレスチェック労基報告	電気設備点検 空気環境測定 防災管理点検は正完了	
2	一般入試(前期B日程) 後期試験	▲ 職員健康診断労基報告② ▲ 防火・防災管理者会議			▲ 職員健康診断労基報告② ▲ 防火・防災管理者会議 ▲ 同報系防災行政無線の試験放送④			▲ 職員健康診断労基報告② ▲ 防火・防災管理者会議		
3	一般入試(後期D日程) 学位記授与式 学生定期健康診断	▲ 防火・防災管理委員会②(大宮)		● 応用化学科応急手当講習・消火訓練(大宮) ● 災害時行動マニュアル作成・配付(教職員・在学生)			● クラブへのアルコール事故注意喚起(梅田) ● 災害時行動マニュアル作成・配付(教職員・在学生)			● 災害時行動マニュアル作成・配付(教職員・在学生)

対人管理…上記のほか、常翔学園警備業務定例会議を毎月実施、防火管理者・防災管理者自衛消防業務講習を随時受講、防災士資格試験を随時受験
警備要員による巡回警備(不審者の発見・排除)、入退構者管理を毎日実施

対物管理…上記のほか、E・V点検、A・E・D点検、手指消毒液の補充及び点検、衛生材料、計測機器の点検・確認を毎月実施
警備要員による諸施設の巡回警備(火災予防、事故防止)を毎日実施

生活・安全教育…上記のほか、ポータルサイト揭示による啓発活動を実施
国際交流プログラムを受講する学生に向けて、海外派遣前に危機管理ガイダンスを行っている。

大宮校地は2013年5月～、枚方校地は2015年2月～から継続して、消防署から防災管理点検報告特例認定を取得している。

コンプライアンス意識の高揚と徹底を図るため、行動規範を制定。その中で健全で明るい職場作りを心がけるよう定め、コンプライアンスカードを全職員に配付し、常時携行させる。

(備考) 赤字は大宮のみ、青字は梅田のみ、緑字は枚方のみで実施するもの
(備考) ●は学生対象、▲は教職員対象のもの

台風など自然災害に関する速やかな情報収集